

本時のねらい

・let や help を用い、人に許可を求めたり、手助けをしたりする表現を、動画を使って実践する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・help 構文を作る場面において、自分が伝えたい内容を視覚化し、分かりやすく相手に伝えるトレーニングを行う。
・リアルタイムに生徒が問題を作成し、それを生徒間で解き合う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google Classroom ・Google Forms ・Google スライド ・Nearpod

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP2, K-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	・Google Classroom のストリームを使用した即興英会話でウォーミングアップを行う。【写真1】 ・「本時のめあて」を確認する。 “人に許可を与えることや、手助けの表現を相手に伝える”	・Nearpod を使用し、1 人 1 台端末にスライドを共有する。(Nearpod のリンクは Google Classroom に貼っておく)
展開 (35分)	・let, help を使った表現をスライドで確認する。 ・ワークシートの例を参考に、 - STEP 1 …let を使った表現をペアで伝え合い、文章化する。 - STEP 2 …help を使った文章をワークシートに記入し、Google スライドを使用して「オリジナル問題」を作る。【写真2】 - STEP 3 …学習班で互いに問題を解き合い、発音練習をする。【写真3】	・スライド作成が苦手な生徒を中心に机間指導をおこなう。 ・自分で問題を作成することで理解を深める。 ・問題作成者が答えを発音し、皆でリピートする。
まとめ (5分)	Google Forms 上で振り返りを記入する。	・振り返りを提出させ、次回の授業でフィードバックする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】ウォーミングアップのようす



【写真2】スライド作成シーン



【写真3】問題を解き合う生徒たち

児童生徒の反応や変容

ウォーミングアップは、ジェスチャー等をまじえ行うことで、英語に苦手意識を持つ生徒も知っている単語を並べながら積極的に参加している。スライドによる問題の作成に関しては、自分の身の回りことを扱うので、理解しやすく、前向きに参加することができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スライドを作成する際に、テンプレートを Google Classroom 上で配付したことにより作成時間を短縮できたことがよかった。スライド作成という作業よりも、英語に触れる時間を長くしたかったので、いかにバランスよく時間配分するかを意識した。端末を使うことに意識が向きがちだが、スライド作成中も「教科としてのねらい」を忘れることなく進めることが大切だと感じている。